

2020年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495200444	事業の開始年月日	平成19年2月1日
		指定年月日	平成19年2月1日
法人名	株式会社日本アメニティライフ協会		
事業所名	花物語なかはら西		
所在地	(211-0053) 川崎市中原区上小田中2-40-2		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18 名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	令和2年9月17日	評価結果 市町村受理日	令和3年2月18日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

花物語なかはら西は武蔵新城駅から徒歩5分、府中街道がありバス停も近く交通の便の良いところにあります。近隣には多摩川や等々力公園、二ヶ領用水もあり四季折々の自然を楽しむ事ができます。一年を通してご入居者様の希望を取り入れスタッフ間で話し合い満足できるような行事を行っております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和2年11月12日	評価機関 評価決定日	令和3年2月6日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所はJR南武線「武蔵新城」駅北口から徒歩7分の畑が散在する平坦な住宅地にあります。洒落た玄関のあるマンション風の鉄筋3階建ての2階と3階です。「思いやりのある介護の実現」を介護理念として、実践すべき課題をわかり易く「その人らしい暮らしを守る」「優しい排泄」「気持ち良い入浴」「その人らしい最期を実現」と捉え、一人ひとりの日々を確認しながら支援に努めています。周辺は交通量も少なく公園や農村の面影もあり落ち着いた暮らしを楽しむことが出来ます。

<優れている点>

ケアプランの各項目と毎日の実践すべき支援内容を整合し、一体化したわかり易い記録帳を職員で共有しています。日々の観察記録は、看護師と医師との連携がきめ細かに記録されてわかり易く、支援に役立てられています。個人の思いや意向をどうしたら実現できるか家族を交えて話し合い、本人本位で実現につながるよう支援しています。

<工夫点>

入浴剤を月ごとに変えて楽しむ「入浴レク」を行っています。経時的にわかる「排便確認書」を基に一人ひとりの状態を観察して看護師と連携しながら優しい排便につながるよう努めています。外出の日を決めて積極的に周辺の散歩を楽しんでいます。希望によるイベント食を食欲増進の行事として食事を楽しめる工夫をしています。1階の空きスペースに業者による無人販売保管庫を置き、入浴や散歩後のアイスクリームやジュースなども楽しみ、買い物気分づくりにも活用しています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	花物語なかはら西
ユニット名	2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	自身の家族にして欲しい事をユニットで話し合い理念を構築しました。すべての職員が理念を理解した上で実践しています。	理念を日々の実践目標にしっかり落とし込み、実行・確認する仕組みを構築しています。職員は責任を持って、日々の自分の支援内容がプランに沿っているかを自己チェックする仕組みがあります。また、情報を共有する手段にもなっています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近隣の保育園との交流があり、毎年の敬老会やクリスマス会では園児が劇や歌などの発表がありました。今年度に置かれましては感染症事情がありできておりません。	コロナ禍の中で交流の機会が断たれていますが、散歩時に庭に出て居る家人と話したり、畑仕事をしている人との日常的な会話や交流は続いています。時折、玄関の看板を見て家族のことで介護相談に来訪する人もいます。コロナ禍の前は近くの保育園児童の来所や園への訪問なども行っていました。	地域における事業所の役割を発信する難しさもありますが、相談を求める人の来訪もあります。果たす役割を発信する機会を地域包括支援センターと連携して出来る所から進めることも期待されます。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	感染症事情から密を避けるため行えてません。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	感染症事情から中止のお知らせと共に行事の様子、写真を送っています。	運営推進会議は地域包括支援センター職員と家族が中心です。コロナ禍で会議は開催できていませんが、事故やヒヤリハット事例を報告しています。写真を活用してホーム内の生活状況やイベント風景を関係者に送付して、関係の継続を図っています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	地域包括支援センターより行事開催等（サロン・よろず相談会）の連絡はあるがコロナ禍の為中止で出来てません。	コロナ禍で地域包括支援センターの行事などに参加は出来ませんが情報収集をしています。グループホーム連絡会も中断中ですが何時でも参加できる準備をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	当GHでは、身体拘束は行わない取り組みを行い勉強会で職員が理解している。行為、行動を妨げないケアを行っている。	2ヶ月に1回の全体会議で参考となる事例をもとに実践的に研修をしています。特に、何気ない行為や言葉遣いについて職員間で話し合い、どう判断すべきかの共有の理解を培っています。玄関、共有空間などのドアは日中は必要が無い限り施錠をしていません。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止法についての研修を行い、身体拘束、虐待はしないという意識をもって職員同士でも見過ごさないように注意している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	実際に成年後見制度を利用しているご利用者がいらっしゃるの、理解はしていると思うが必要な知識を学ぶ機会を設けたいと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約には十分に時間をかけ、特に看取りや契約解除についてはご家族様の意向もききつつ施設として出来る事、出来ない事をはっきりとお伝えし理解、納得を得た上で締結しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	いつでも意見を言えるような雰囲気や関係に勤め困りごとや相談には管理者と職員で周知しご希望に添えるように努めている。	家族会はありませんが来訪が少ない家族などへは電話による近況報告や来訪の声掛けをしています。コロナ禍での来所対応などを参考情報として発信しながら希望を聞く機会にしています。イベントを楽しむ様子を写真にして家族へ送る準備も進めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	2ヶ月毎の全体会議やフロア会議の際に意見を聞き、話し合いを行ってま す。必要に応じて個人面談の機会も設 けてます。	日々の記録帳をもとにフロア会議や全 体会議で職員の思い、提案を話し合っ ています。利用者の思いや希望を共有 し、実現するための話し合いもしてい ます。必要により上層のマネージャー 会議にもつなげています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務 状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいな ど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・ 条件の整備に努めている。	年に1度面談を行い就業時間の増減や 社員への登用の希望、社会保険への加 入の希望確認をしています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際 と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会 の確保や、働きながらトレーニングしていくこと を進めている。	資格取得制度や奨学金制度があること を伝え、活用できるように周知してい ます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会 をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪 問等の活動を通じて、サービスの質を向上させて いく取組みをしている。	コロナ禍のため交流を控えるように周 知した為できてません。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困って いること、不安なこと、要望等に耳を傾けなが ら、本人の安心を確保するための関係づくりに努 めている。	事前に情報収集を行いご本人様にあっ た環境を考え家族とも連携を取りなが ら安心して過ごせるように努めてい く。またご本人の要望をお聞きしプラ ンに反映している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりを努めている。	アセスメントをしっかりと取った上で利用前にケアプランを作成し、納得いただいてからサービスを開始しています。利用開始からは、しばらくは施設での様子を細かく連絡しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人と家族の状況を把握し事前に施設に来て頂くなどの、必要な支援をしている。グループホームが適切であるかも検討し、場合によっては系列の施設や他施設への紹介も行ってます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	本人の気持ちを第一に考え、ADLや意欲に沿った方法で生活をし他者と協力しながら生活が出来るように支援しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	常に家族様の意見が反映できるように情報共有し、施設の支援が一方通行にならないよう心がけています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナ禍のため面会を自粛しているので友人、家族からの電話は取り次ぎ対応行ってます。	利用者は近隣の人が多く、よく友人が訪ねて来ていましたが、現在はコロナ禍で来訪は自粛して貰っているため電話の取り次ぎ対応が増えています。散歩時は近くの畑の人に声をかけたり野菜を貰うなど、馴染みの関係にもつながっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う人や面倒見の良い人などを隣になるように席を配慮しています。毎日の生活の中で孤立しないようにご利用者様同士の会話の架け橋をしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他施設に移動されたご利用者様には、ご家族の了承を経て面会させていただいています。移動後もご利用者の様子を聞きながら世間話を交えて家族の様子もおききしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のケアの中でアセスメントを行い、会議やカンファレンスで希望や意向を話し合い職員全員に周知しています。ご自身で言葉にすることが困難な場合は家族と話し合い、本人にとって必要な支援をしています。	誕生日などの機会を活用して、なかなか言い出せない希望を一人ひとりじっくり聞く機会にしています。墓参りや残して来た家に行ってみたいなどの希望を出来る限り実現できるよう支援しています。家族を含めて話し合いを行い実現に結びつけています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族や本人から生活歴を確認し趣味や家事などが継続できるよう職員で情報共有し支援する		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎朝の申し送りでその日の体調や精神状態を把握し、一人ひとりにあった時間を過ごしていただいています。体調によっては、食事や入浴の時間をずらして個別ケアに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	出来上がったケアプランに対し毎日評価を行っています。必要のないプランや加えて欲しいプラン、ご家族様からの要望で増やしたいプランなどは随時ケアマネージャーに相談しています。	個人記録帳はケアプランと日々の支援が連動したわかり易い様式です。一日の支援状況を時間軸に沿って記録し、一目で生活の様子や健康管理、支援行為の結果を確認する事項などが分かり、介護計画の現状や見直しに向けての大切な指標としています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個人記録には時間ごとの様子だけではなく、ご利用者の言葉や思いなども記録し毎朝の申し送りで情報共有しています。申し送りでの情報はケアマネージャーにも共有しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	現在必要なサービスや今後必要なサービスは何であるかを考え今までの生活歴を考慮しながら支援している。家族、本人が何を必要としているかを第一に考え、希望に添えるよう努力している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	コロナ禍で外出に制限があるために施設内で過ごされることが増えているが全身体操、季節感のある制作レクリエーションに意欲的に参加できるように努力しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月2回、内科の定期往診があり風や突発的な症状が出た場合は臨時往診の対応もしてもらいます。初診時と必要に応じて家族にも立ち会ってもらい先生とカンファレンスを行います。	本人と家族の同意を得て、月2回協力医の往診を受け、看護師職員は週2回勤務し往診記録を作成して医療連携しています。希望の専門医受診は原則家族対応とし、車椅子移動などは必要に応じて職員が対応しています。訪問歯科は月4回口腔ケアを行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師が週に2日勤務して日頃の健康管理に努めています。気になることがあるとスタッフと相談し処置や受診の指示を受けてます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は必ず付き添い診療情報提供書で情報を共有し、安心して治療が受けられるように配慮してます。入院中も家族と連絡を取り、主治医との話し合いには同席させていただき状態を把握するように努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に看取りについてを説明し同意を交わし、家族の意向を確認してます。ホームでの看取りを希望されたときは家族、主治医、看護と連携を図り納得のいく終末期を、過ごせるように支援しています。	契約時に重度化した場合の説明し同意を得ています。本人と家族の意向を大切にしています。看取りが近くなった際には主治医から家族に直接説明しカンファレンスを行い、看護師指導のもとチームで出来る限りの支援に努めています。看取りの実績があります。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	入社時の研修や社内研修で急変時の対応や事故の対応については、勉強をしているが実際に起きたときに、動けるのか不安のある職員には個別で指導してます。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	地域の方に呼びかけていますがなかなか協力体制が築けてません。今後の課題として努力したいと思います。災害時の食料、水分の準備はできています。	今年はコロナ渦で出来ていませんが、前年度は通報訓練を実施しています。各災害に向けて避難方法を検討しています。出入口付近に屋外避難経路図を掲示し、事務室にAEDを設置しています。備蓄は3日分の食料、飲料水をリストで管理しています。	様々な災害に備えた避難訓練の早期実施が期待されます。防災用品の充実とリスト管理も期待されます。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩であることを意識し、敬意の念を持って接するように心がけています。	職員は日々の対応の中で、一人ひとりの生活リズムを大切にし、プライバシー確保を心がけています。声掛けでは声の大きさ、排泄や入浴時は羞恥心に配慮しています。スピーチロックなど不適切と思われるケースがあれば、その都度話し合っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入浴時間や毎日の洋服選びなどで自己決定できるように働きかけております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日々の生活の中で、レクリエーションの参加やお手伝い、食後のお部屋での過ごし方はその方のペースを大切に希望に沿った支援をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床介助時は、ホットタオルで顔を拭き髪を整えています。毎月の理美容では、髪をカットしカラーをされる方もいらっしやいます。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	管理栄養士が立てた献立に沿ったレトルト食材が定期的を送られてきます。入居者様は食器、お盆拭きのお手伝いをさせていただきます。今年はコロナがあり外食レクが出来なかったので出前をとりました。	食材と献立は外部委託し、湯煎して提供しています。みそ汁は職員が手作りしています。出前で人気の握り寿司やネギトロ丼を注文し喜ばれています。利用者のリクエストのカレーや豚汁を職員と一緒に準備するなど、食事を楽しむことのできる支援をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養管理がされている献立を使い、バランスの取れたメニューになっています。食事と水分量はすべて個人記録に記入し1日のトータルを出し、過不足なく摂取できるように支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後に口腔ケアの時間をとりケアを行っています。毎月訪問歯科による定期健診と必要に応じて処置を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個人記録により排泄パターンを把握し定時誘導を行っています。小さな排泄のサインも見落とすことなく、気持ちよく排泄できるよう支援しています。	排泄チェック表のほか、便困表を作成し、水分不足にならないよう支援をし便秘改善につなげています。情報共有をして定時、随時のトイレ誘導を行っています。おむつからリハビリパンツ、パットの大きさが大から小に替わっていくなど改善しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事・水分・運動量を把握し、記録をとり便秘の早期発見に努め対応しています。起床時に牛乳を提供を提供することで自然な排便を促すよう支援しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴レクとして、毎月四季折々の入浴剤を使用し入浴を楽しんでいただいています。その日に入浴気分でないご入居者様には日を変えて入浴していただいています。	入浴は週2回午前を基本とし希望を叶えるようにしています。入浴剤を月毎に替え入浴を楽しむことができるよう工夫をしています。皮膚疾患がある場合は、日々足浴の支援をしています。入浴拒否の場合は無理強いせず時間や曜日を変えて対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご入居様が自由にご自身の時間を過ごされるように配慮しています。移動が困難な方には、表情や状態から休憩や臥床の声掛け介助をしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の変更には特に配慮をし、往診医と症状の変化や経過について連携を取っています。薬剤情報を確認しながら二人の職員でダブルチェックを行い服薬介助しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	炊事・洗濯・掃除・園芸など職員と共に行うことで他のご入居者様や職員から感謝され、喜びを実感しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ禍で戸外に出かけ買い物・散歩は、出来ておりません。施設内で花苗を植え、水撒きのお手伝いをされたり植えた花の見学をされて楽しんでくださるよう努めました。	買い物や外食など控えていますが、現在は天気の良い日は車椅子の人も含め数名ずつ事業所周辺の散歩をしています。ホーム内でも回遊型の廊下を歩いて足腰を鍛えたり、花を楽しめるよう工夫したり、一人ひとりの希望や現状に合わせた支援をしています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理は主に事務所で行ってます。使った額を請求させていただき立替制度になっております。家族の承諾を得て本人がお金を持ち買い物に行く支援もおこなっておりますが、コロナ禍で制限させていただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族様のご了承が取れている利用者は遠くに住む兄弟、友人に電話でお話したり、お手紙のやり取りのお手伝いをしております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有スペースはのんびり寛げるよう配慮しています。浴室やトイレが分かりやすい表示をしたり窓から空の様子や季節感を感じていただくような心配りをしています。	ベランダに面したリビングは一面大きなガラス戸で日当たりがよく、テレビの前には大きなソファがありくつろげる空間となっています。広い回遊型の廊下の壁面には、利用者と職員が一緒に作成した大きなちぎり絵や季節の作品を掲示しています。空気清浄機と換気で温湿度の管理をしています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロアにソファを置き、気の合う利用者とおしゃべりを楽しんでいただいています。仲の良い利用者は近くに席を置くように配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	馴染みの家具や布団、置物や飾り物を持ってきて頂いています。家族や本人と相談し、自宅にいた時のような安心感と居心地よく過ごせるような工夫をしています。	低床ベット、エアコン、自動水栓の洗面台を備え付けています。馴染みの家具や寝具、テレビ、加湿器などを持ち込み、写真や好みの物を飾り、その人らしく過ごせる工夫をしています。手作りの表札を下げて分かりやすくしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室のドアには本人の意向に配慮しながら分かりやすいように表札を下げております。歯磨きセットなども使いやすい場所に置き不便を感じさせないような工夫をしています。		

事業所名	花物語なかはら西
ユニット名	3F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	自身の家族にして欲しい事をユニットで話し合い理念を構築しました。すべての職員が理念を理解した上で実践しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近隣の保育園との交流があり、毎年の敬老会やクリスマス会では園児が劇や歌などの発表がありましたが、今年度に置かれましては感染症事情がありできておりません。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	感染症事情から密を避けるため行えてません。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	感染症事情から中止のお知らせと共に行事の様子、写真を送っています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	地域包括支援センターより行事開催等（サロン・よろず相談会）の連絡はあるがコロナ禍の為中止で出来てません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	当GHでは、身体拘束は行わない取り組みを行い勉強会で職員が理解している。行為、行動を妨げないケアを行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止法についての研修を行い、身体拘束、虐待はしないという意識をもって職員同士でも見過ごさないように注意している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	実際に成年後見制度を利用しているご利用者様がいらっしゃるのので、理解はしていると思うが必要な知識を学ぶ機会を設けたいと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約には十分に時間をかけ、特に看取りや契約解除についてはご家族様の意向もききつつ施設として出来る事、出来ない事ははっきりとお伝えし理解、納得を得た上で締結しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	いつでも意見を言えるような雰囲気や関係に勤め困りごとや相談には管理者と職員で周知しご希望に添えるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	2ヶ月毎の全体会議やフロア会議の際に意見を聞き、話し合いを行ってます。必要に応じて個人面談の機会も設けてます。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年に1度面談を行い就業時間の増減や社員への登用の希望、社会保険への加入の希望確認をしています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	資格取得制度や奨学金制度があることを伝え、活用できるように周知しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	コロナ禍のため交流を控えるように周知した為できてません。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前に情報収集を行いご本人様にあった環境を考え家族とも連携を取りながら安心して過ごせるように努めています。またご本人の要望をお聞きしプランに反映している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	アセスメントをしっかりと取った上で利用前にケアプランを作成し、納得いただいてからサービスを開始しています。利用開始からは、しばらくは施設での様子を細かく連絡しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人と家族の状況を把握し事前に施設に来て頂くなどの、必要な支援をしている。グループホームが適切であるかも検討し、場合によっては系列の施設や他施設への紹介も行ってます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	本人の気持ちを第一に考え、ADLや意欲に沿った方法で生活をし他者と協力しあいながら生活が出来るように支援しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	常に家族様の意見が反映できるように情報共有し、施設の支援が一方通行にならないよう心がけています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナ禍のため面会を自粛しているので友人、家族からの電話は取り次ぎ対応行ってます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う人や面倒見の良い人などを隣になるように席を配慮してます。毎日の生活の中で孤立しないようにご利用者様同士の会話の架け橋をしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他施設に移動されたご利用者様には、ご家族の了承を経て面会させていただきます。移動後もご利用者の様子を聞きながら世間話を交えて家族の様子もおききしてます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のケアの中でアセスメントを行い、会議やカンファレンスで希望や意向を話し合い職員全員に周知しています。ご自身で言葉にすることが困難な場合は家族と話し合い、本人にとって必要な支援をしています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族や本人から生活歴を確認し趣味や家事などが継続できるよう職員で情報共有し支援する		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎朝の申し送りでその日の体調や精神状態を把握し、一人ひとりにあった時間を過ごしていただいています。体調によっては、食事や入浴の時間をずらして個別ケアに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	出来上がったケアプランに対し毎日評価を行っています。必要のないプランや加えて欲しいプラン、ご家族様からの要望で増やしたいプランなどは随時ケアマネージャーに相談しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個人記録には時間ごとの様子だけではなく、ご利用者の言葉や思いなども記録し毎朝の申し送りで情報共有しています。申し送りでの情報はケアマネージャーにも共有しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	現在必要なサービスや今後必要なサービスは何であるかを考え今までの生活歴を考慮しながら支援している。家族、本人が何を必要としているかを第一に考え、希望に添えるよう努力している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	コロナ禍で外出に制限があるために施設内で過ごされることが増えているが全身体操、季節感のある制作レクリエーションに意欲的に参加できるように努力しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月2回、内科の定期往診があり風や突発的な症状が出た場合は臨時往診の対応もしてもらいます。初診時と必要に応じて家族にも立ち会ってもらい先生とカンファレンスを行います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師が週に2日勤務して日頃の健康管理に努めています。気になることがあるとスタッフと相談し処置や受診の指示を受けてます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は必ず付き添い診療情報提供書で情報を共有し、安心して治療が受けられるように配慮してます。入院中も家族と連絡を取り、主治医との話し合いには同席させていただき状態を把握するように努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に看取りについてを説明し同意を交わし、家族の意向を確認してます。ホームでの看取りを希望されたときは家族、主治医、看護と連携を図り納得のいく終末期を、過ごせるように支援しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	入社時の研修や社内研修で急変時の対応や事故の対応については、勉強をしているが実際に起きたときに、動けるのか不安のある職員には個別で指導してます。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	地域の方に呼びかけていますがなかなか協力体制が築けてません。今後の課題として努力したいと思います。災害時の食料、水分の準備はできています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩であることを意識し、敬意の念を持って接するように心がけています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入浴時間や毎日の洋服選びなどで自己決定できるように働きかけております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日々の生活の中で、レクリエーションの参加やお手伝い、食後のお部屋での過ごし方はその方のペースを大切に希望に沿った支援をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床介助時は、ホットタオルで顔を拭き髪を整えています。毎月の理美容では、髪をカットしカラーをされる方もいらっしやいます。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	管理栄養士が立てた献立に沿ったレトルト食材が定期的に送られてきます。入居者様は食器、お盆拭きのお手伝いをさせていただきます。今年はコロナがあり外食レクが出来なかったので出前をとりました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養管理がされている献立を使い、バランスの取れたメニューになっています。食事と水分量はすべて個人記録に記入し1日のトータルを出し、過不足なく摂取できるように支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後に口腔ケアの時間をとりケアを行っています。毎月訪問歯科による定期健診と必要に応じて処置を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個人記録により排泄パターンを把握し定時誘導を行っています。小さな排泄のサインも見落とすことなく、気持ちよく排泄できるよう支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事・水分・運動量を把握し、記録をとり便秘の早期発見に努め対応しています。起床時に牛乳を提供することで自然な排便を促すよう支援しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴レクとして、毎月四季折々の入浴剤を使用し入浴を楽しんでいただいています。その日に入浴気分でないご入居者様には日を変えて入浴していただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご入居者様が自由にご自身の時間を過ごされるように配慮しています。移動が困難な方には、表情や状態から休憩や臥床の声掛け介助をしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の変更には特に配慮をし、往診医と症状の変化や経過について連携を取っています。薬剤情報を確認しながら二人の職員でダブルチェックを行い服薬介助しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	炊事・洗濯・掃除・園芸など職員と共に行うことで他のご入居者様や職員から感謝され、喜びを実感しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ禍で戸外に出かけ買い物・散歩は、出来ておりません。施設内で花苗を植え、水撒きのお手伝いをされたり植えた花の見学をされて楽しんでくださるよう努めました。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理は主に事務所で行ってます。使った額を請求させていただき立替制度になっております。家族の承諾を得て本人がお金を持ち買い物に行く支援もおこなっておりますが、コロナ禍で制限させていただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族様のご了承が取れている利用者は遠くに住む兄弟、友人に電話でお話したり、お手紙のやり取りのお手伝いをしております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有スペースはのんびり寛げるよう配慮しています。浴室やトイレが分かりやすい表示をしたり窓から空の様子や季節感を感じていただくような心配りをしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロアにソファを置き、気の合う利用者とおしゃべりを楽しんでいただいています。仲の良い利用者は近くに席を置くように配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	馴染みの家具や布団、置物や飾り物を持ってきて頂いています。家族や本人と相談し、自宅にいた時のような安心感と居心地よく過ごせるような工夫をしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室のドアには本人の意向に配慮しながら分かりやすいように表札を下げております。歯磨きセットなども使いやすい場所に置き不便を感じさせないような工夫をしています。		

令和2年度

事業所名 花物語なかはら西

作成日： 令和3年 2 月 16 日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害に備えた避難訓練の早期実施と防災用品の充実とリスト管理をする。	防災用品チェックリスト作成により購入管理を行う。	スタッフと話し合い避難経路を作成しそれに沿った避難訓練を実施する。	3ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月